

## 2020年3月期 第2四半期連結決算概要

2019年10月30日  
住友化学株式会社

### 1. 業績 (IFRS)

(単位：億円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	2020年3月期 (予想)	2019年3月期
売上収益	11,221	11,076	△146	23,300	23,186
コア営業利益	1,021	845	△176	1,600	2,043
営業利益	919	1,025	106	1,700	1,830
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	615	297	△318	500	1,180
基本的1株当たり四半期(当期)利益	37.61円	18.17円	△19.44円	30.58円	72.17円
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益率(ROE)	6.4%	3.0%	△3.4%	5.1%	12.3%
海外売上比率	64.6%	66.8%	2.2%	65.6%	64.9%
平均為替レート(円/\$)	110.26	108.60	—	106.80 (下期 105.00)	110.92
ナフサ価格(円/KL)	51,100	42,700	—	42,900 (下期 43,000)	49,500

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した損益であり、経常的な収益力を表す損益概念です。持分法による投資損益を含みます。

### 2. 部門別売上収益・コア営業利益 (IFRS)

(単位：億円)

		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	2020年3月期 (予想)	2019年3月期
石油化学	売上収益	3,804	3,522	△282	7,050	7,575
	コア営業利益	354	174	△180	240	616
エネルギー・ 機能材料	売上収益	1,409	1,310	△98	2,800	2,829
	コア営業利益	128	125	△3	230	230
情報電子 化学	売上収益	1,954	2,069	114	4,250	3,968
	コア営業利益	148	153	5	270	262
健康・農業 関連事業	売上収益	1,381	1,463	82	3,650	3,381
	コア営業利益	25	△82	△107	110	197
医薬品	売上収益	2,427	2,474	47	5,000	4,921
	コア営業利益	393	469	76	810	808
その他	売上収益	246	237	△9	550	511
	コア営業利益	32	52	20	100	94
全社費用等	売上収益	—	—	—	—	—
	コア営業利益	△59	△46	13	△160	△164
合計	売上収益	11,221	11,076	△146	23,300	23,186
	コア営業利益	1,021	845	△176	1,600	2,043

### 3. 要約四半期連結損益計算書 (IFRS)

(単位：億円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増 減
売 上 収 益	11,221	11,076	△146
コ ア 営 業 利 益	1,021	845	△176
(うち持分法による投資損益)	(239)	(122)	(△117)
条件付対価に係る公正価値変動	△69	418	486
減 損 損 失	—	△193	△193
事 業 構 造 改 善 費 用	△24	△34	△10
そ の 他	△10	△10	△1
非 経 常 項 目 計	△102	180	282
営 業 利 益	919	1,025	106
為 替 差 損 益	102	△68	△171
そ の 他 の 金 融 収 益 及 び 費 用	1	9	8
税 引 前 四 半 期 利 益	1,023	966	△57
法 人 所 得 税 費 用	△208	△466	△258
四 半 期 利 益	815	501	△314
非支配持分に帰属する四半期利益	△200	△204	△4
親会社の所有者に帰属する四半期利益	615	297	△318

### 4. 要約四半期連結財政状態計算書 (IFRS)

(単位：億円)

	2019年3月31日 現 在	2019年9月30日 現 在	増 減		2019年3月31日 現 在	2019年9月30日 現 在	増 減
( 資 産 )				( 負 債 )			
流 動 資 産	12,912	13,305	392	営 業 債 務 及 び そ の 他 の 債 務	4,829	4,367	△461
現 金 及 び 現 金 同 等 物	2,017	2,713	696	有 利 子 負 債	8,395	9,570	1,175
営 業 債 権 及 び そ の 他 の 債 権	5,500	5,196	△304	そ の 他	4,973	4,904	△70
棚 卸 資 産	4,893	4,936	43	負 債 合 計	18,197	18,841	644
そ の 他	503	459	△44	( 資 本 )			
非 流 動 資 産	18,804	18,756	△48	株 主 資 本	9,223	9,327	105
有 形 固 定 資 産	7,359	7,854	495	そ の 他 の 資 本 の 構 成 要 素	764	303	△462
の れ ん 及 び 無 形 資 産	3,435	3,151	△284	非 支 配 持 分	3,532	3,590	58
そ の 他	8,010	7,751	△259	資 本 合 計	13,519	13,220	△299
資 産 合 計	31,716	32,061	344	負 債 及 び 資 本 合 計	31,716	32,061	344

親 会 社 所 有 者 帰 属 持 分 比 率	31.5%	30.0%	△1.5%
----------------------------	-------	-------	-------

## 5. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (IFRS)

(単位：億円)

	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	増減	2019年3月期
営業キャッシュ・フロー	556	699	143	2,081
投資キャッシュ・フロー	△831	△728	103	△1,808
フリー・キャッシュ・フロー	△275	△29	246	273
財務キャッシュ・フロー	220	803	582	△609
その他の	73	△78	△150	33
現金及び現金同等物の増減	18	696	678	△303



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年10月30日

上場会社名 住友化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4005 URL https://www.sumitomo-chem.co.jp/  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）岩田 圭一  
 問合せ先責任者（役職名）経理部長（氏名）丹 昌敏（TEL）03-5543-5160  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,107,558	△1.3	84,527	△17.2	102,545	11.5	50,081	△38.6	29,709	△51.7	△3,855	—
2019年3月期第2四半期	1,122,118	7.9	102,106	△19.6	91,932	△32.5	81,502	△26.5	61,486	△20.2	114,252	△5.4
	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2020年3月期第2四半期	18.17		18.15									
2019年3月期第2四半期	37.61		37.57									

（参考）持分法による投資損益 2020年3月期第2四半期 12,211百万円 2019年3月期第2四半期 23,888百万円  
 税引前四半期利益 2020年3月期第2四半期 96,641百万円 2019年3月期第2四半期 102,304百万円

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した損益であり、経常的な収益力を表す損益概念です。

## （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,206,058	1,321,969	963,003	30.0
2019年3月期	3,171,618	1,351,886	998,702	31.5

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2020年3月期	—	11.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末の配当予想につきましては、未定としております。

## 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,330,000	0.5	160,000	△21.7	170,000	△7.1	50,000	△57.6	30.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は【添付資料】P.12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	1,655,446,177株	2019年3月期	1,655,446,177株
2020年3月期2Q	20,438,683株	2019年3月期	20,432,567株
2020年3月期2Q	1,635,010,007株	2019年3月期2Q	1,635,035,728株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上収益は、前年同四半期連結累計期間（以下「前年同四半期」という。）に比べ146億円減少し、1兆1,076億円となりました。損益面では、コア営業利益は845億円となり前年同四半期を下回りましたが、営業利益は1,025億円と前年同四半期を上回りました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は297億円となり、前年同四半期を下回りました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき11円として実施させて頂くことといたしました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

#### (石油化学)

石油化学品や合成樹脂は原料価格が前年同四半期を下回ったことにより、市況が下落しました。合繊原料やメタアクリルも市況が低水準で推移しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、282億円減少し3,522億円となりました。コア営業利益は、石油化学品やメタアクリルなどの交易条件の悪化により前年同四半期に比べ180億円減少し174億円となりました。

#### (エネルギー・機能材料)

レゾルシン（接着材用原料）やリチウムイオン二次電池用セパレータは出荷が堅調に推移しました。一方、アルミニウムの市況や正極材料の原料金属の市況が低水準で推移したため、販売価格が下落しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、98億円減少し1,310億円となり、コア営業利益は前年同四半期に比べ3億円減少し125億円となりました。

#### (情報電子化学)

偏光フィルムは販売価格が下落しました。一方で、偏光フィルムはテレビ用途、モバイル用途ともに、またタッチセンサーパネルも需要の伸長により出荷が増加しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、114億円増加し2,069億円となり、コア営業利益は前年同四半期に比べ5億円増加し153億円となりました。

#### (健康・農業関連事業)

メチオニン（飼料添加物）は市況が下落しましたが、前連結会計年度に実施した生産能力増強により出荷が増加しました。一方で、農薬は北米における天候不順の影響により出荷が減少しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、82億円増加し1,463億円となりました。コア営業利益は、メチオニンの交易条件の悪化や農薬の出荷減少などにより、前年同四半期に比べ107億円悪化し82億円の損失となりました。

## (医薬品)

北米ではラツォダ（非定型抗精神病薬）の販売が伸長し、また中国においても増収となりました。一方、国内では長期収載品の販売が減少しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、47億円増加し2,474億円となりました。コア営業利益は売上収益の増加に加え、販売費及び一般管理費が減少したことから、前年同四半期に比べ76億円増加し469億円となりました。

## (その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析業務等を行っております。これらの売上収益は前年同四半期に比べ、9億円減少し237億円となり、コア営業利益は前年同四半期に比べ20億円増加し52億円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ344億円増加し、3兆2,061億円となりました。現金及び現金同等物が増加しました。また、IFRS第16号「リース」の適用により有形固定資産が増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ644億円増加し、1兆8,841億円となりました。有利子負債が増加したとともに、IFRS第16号「リース」の適用によりその他の金融負債が増加しました。

資本合計（非支配持分を含む）は、その他の資本の構成要素が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ299億円減少し、1兆3,220億円となりました。親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比べて1.5ポイント減少し、30.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しにつきましては、2019年5月15日公表の2020年3月期通期連結業績予想を下記のとおりに2019年10月21日に修正しております。

## 2020年3月期通期連結業績予想

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の所有者に帰属する 当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,440,000	205,000	190,000	100,000	61.16
今回修正予想 (B)	2,330,000	160,000	170,000	50,000	30.58
増減額 (B - A)	△110,000	△45,000	△20,000	△50,000	
増減率 (%)	△4.5	△22.0	△10.5	△50.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	2,318,572	204,252	182,972	117,992	72.17

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除しております。



下半期については、世界経済の不確実性の高まりを背景に、不透明な事業環境が続くものと予想しております。このような状況の中、為替相場を前回発表予想の110円/\$から105円/\$へと見直しを行いました。

通期では、円高に伴う輸出手取りの減少はあるものの、エネルギー・機能材料、情報電子化学、医薬品の業績は引き続き堅調に推移する見込みです。一方で、石油化学や健康・農業関連事業においては下半期も当初の想定に比べ業績の悪化を見込むことから、売上収益、コア営業利益は前回発表予想を下回ると予想しております。

また、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益についても、コア営業利益の減少や円高による為替差損の影響に加え、繰延税金資産の取り崩し等により、減益となる見込みです。

なお、原料価格の前提につきましては、下期のナフサ価格を43,000円/KLと想定しております。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

また、通期連結業績予想数値は、上記の通り下方修正いたしました。当期の期末配当については、前回予想時の11円から未定に変更することとし、不透明な事業環境が続く中、下半期および次期の業績動向を見極めた上で、改めて公表することといたします。

2019年10月21日公表の「第2四半期業績予想および通期業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	201,678	271,320
営業債権及びその他の債権	549,992	519,612
その他の金融資産	5,352	7,402
棚卸資産	489,266	493,611
その他の流動資産	44,935	38,508
流動資産合計	1,291,223	1,330,453
非流動資産		
有形固定資産	735,918	785,422
のれん	126,838	123,202
無形資産	216,664	191,868
持分法で会計処理されている 投資	299,044	298,798
その他の金融資産	323,392	316,799
退職給付に係る資産	69,392	68,768
繰延税金資産	70,587	54,059
その他の非流動資産	38,560	36,689
非流動資産合計	1,880,395	1,875,605
資産合計	3,171,618	3,206,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	256,565	338,235
営業債務及びその他の債務	482,858	436,719
その他の金融負債	50,735	57,091
未払法人所得税等	29,715	27,013
引当金	101,340	92,520
その他の流動負債	83,921	75,057
流動負債合計	1,005,134	1,026,635
非流動負債		
社債及び借入金	582,965	618,783
その他の金融負債	87,616	100,685
退職給付に係る負債	43,981	45,512
引当金	22,698	22,765
繰延税金負債	51,171	46,736
その他の非流動負債	26,167	22,973
非流動負債合計	814,598	857,454
負債合計	1,819,732	1,884,089
資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	20,438	20,235
利益剰余金	820,454	831,130
自己株式	△8,322	△8,325
その他の資本の構成要素	76,433	30,264
親会社の所有者に帰属する持分 合計	998,702	963,003
非支配持分	353,184	358,966
資本合計	1,351,886	1,321,969
負債及び資本合計	3,171,618	3,206,058

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上収益	1,122,118	1,107,558
売上原価	△761,234	△754,742
売上総利益	360,884	352,816
販売費及び一般管理費	△291,697	△258,929
その他の営業収益	4,443	4,256
その他の営業費用	△5,586	△7,809
持分法による投資利益	23,888	12,211
営業利益	91,932	102,545
金融収益	16,198	7,276
金融費用	△5,826	△13,180
税引前四半期利益	102,304	96,641
法人所得税費用	△20,802	△46,560
四半期利益	81,502	50,081
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	61,486	29,709
非支配持分	20,016	20,372
四半期利益	81,502	50,081
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	37.61	18.17
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	37.57	18.15

要約四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	81,502	50,081
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する資本性金融資産	12,608	△11,058
確定給付制度の再測定	7	△29
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	1,791	△2,537
純損益に振り替えられることのない 項目合計	14,406	△13,624
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	229	854
在外営業活動体の換算差額	20,879	△32,981
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	△2,764	△8,185
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	18,344	△40,312
税引後その他の包括利益	32,750	△53,936
四半期包括利益	114,252	△3,855
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	84,296	△17,508
非支配持分	29,956	13,653
四半期包括利益	114,252	△3,855

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素	
					その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定
2018年4月1日	89,699	21,688	738,882	△8,296	104,034	—
会計方針の変更による 影響額	—	—	60	—	—	—
2018年4月1日調整後残高	89,699	21,688	738,942	△8,296	104,034	—
四半期利益	—	—	61,486	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	11,824	30
四半期包括利益合計	—	—	61,486	—	11,824	30
自己株式の取得	—	—	—	△22	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
配当金	—	—	△19,621	—	—	—
非支配持分との取引	—	△799	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△83	—	113	△30
その他の増減額	—	—	△175	—	110	—
所有者との取引額等合計	—	△799	△19,879	△22	223	△30
2018年9月30日	89,699	20,889	780,549	△8,318	116,081	—

  

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
	キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2018年4月1日	△2,852	△16,014	85,168	927,141	325,073	1,252,214
会計方針の変更による 影響額	—	—	—	60	169	229
2018年4月1日調整後残高	△2,852	△16,014	85,168	927,201	325,242	1,252,443
四半期利益	—	—	—	61,486	20,016	81,502
その他の包括利益	690	10,266	22,810	22,810	9,940	32,750
四半期包括利益合計	690	10,266	22,810	84,296	29,956	114,252
自己株式の取得	—	—	—	△22	—	△22
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	—	△19,621	△11,602	△31,223
非支配持分との取引	—	—	—	△799	△158	△957
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	83	—	—	—
その他の増減額	—	—	110	△65	645	580
所有者との取引額等合計	—	—	193	△20,507	△11,115	△31,622
2018年9月30日	△2,162	△5,748	108,171	990,990	344,083	1,335,073

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素 その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定
2019年4月1日	89,699	20,438	820,454	△8,322	98,776	—
会計方針の変更による 影響額	—	—	—	—	—	—
2019年4月1日調整後残高	89,699	20,438	820,454	△8,322	98,776	—
四半期利益	—	—	29,709	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△10,948	△81
四半期包括利益合計	—	—	29,709	—	△10,948	△81
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
配当金	—	—	△17,985	—	—	—
非支配持分との取引	—	△203	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△1,062	—	981	81
その他の増減額	—	—	14	—	△14	—
所有者との取引額等合計	—	△203	△19,033	△3	967	81
2019年9月30日	89,699	20,235	831,130	△8,325	88,795	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	合計				
2019年4月1日	△1,851	△20,492	76,433	998,702	353,184	1,351,886
会計方針の変更による 影響額	—	—	—	—	—	—
2019年4月1日調整後残高	△1,851	△20,492	76,433	998,702	353,184	1,351,886
四半期利益	—	—	—	29,709	20,372	50,081
その他の包括利益	782	△36,970	△47,217	△47,217	△6,719	△53,936
四半期包括利益合計	782	△36,970	△47,217	△17,508	13,653	△3,855
自己株式の取得	—	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	—	△17,985	△9,389	△27,374
非支配持分との取引	—	—	—	△203	445	242
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	1,062	—	—	—
その他の増減額	—	—	△14	—	1,073	1,073
所有者との取引額等合計	—	—	1,048	△18,191	△7,871	△26,062
2019年9月30日	△1,069	△57,462	30,264	963,003	358,966	1,321,969

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	102,304	96,641
減価償却費及び償却費	51,280	65,412
減損損失	—	19,335
持分法による投資損益(△は益)	△23,888	△12,211
受取利息及び受取配当金	△5,436	△6,192
支払利息	4,894	5,722
事業構造改善費用	2,374	3,373
条件付対価に係る公正価値変動	6,850	△41,757
営業債権の増減額(△は増加)	△1,876	29,980
棚卸資産の増減額(△は増加)	△29,597	△13,861
営業債務の増減額(△は減少)	△9,128	△12,944
引当金の増減額(△は減少)	1,271	△5,379
その他	△36,058	△39,848
小計	62,990	88,271
利息及び配当金の受取額	22,987	11,055
利息の支払額	△5,054	△5,564
法人所得税の支払額	△24,126	△22,224
事業構造改善費用の支払額	△1,193	△1,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,604	69,930
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△75,183	△65,240
固定資産の売却による収入	470	914
子会社の取得による収支(△は支出)	△3,348	1,304
投資の取得による支出	△6,411	△11,070
投資の売却及び償還による収入	7	1,138
その他	1,395	163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,070	△72,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	36,373	42,652
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	24,000	47,000
長期借入れによる収入	63,958	53,168
長期借入金の返済による支出	△46,836	△52,806
社債の発行による収入	49,725	34,809
社債の償還による支出	△70,000	△10,000
リース負債(前第2四半期連結累計期間：リ ース債務)の返済による支出	△1,650	△6,825
配当金の支払額	△19,621	△17,985
非支配持分への配当金の支払額	△11,599	△9,385
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,701	—
その他	△601	△331
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,048	80,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,253	△7,794
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,835	69,642
現金及び現金同等物の期首残高	231,929	201,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	233,764	271,320



## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より IFRS 第16号「リース」(以下「IFRS 第16号」という。)を適用しております。

当社グループは、契約が特定された資産の使用を支配する権利を一定期間にわたり対価と交換に移転しているか否かに基づき、契約がリースであるか、またはリースを含んでいるかを判定しております。

契約がリースであるかまたはリースを含んでいると判定した場合、リース開始日において、使用权資産およびリース負債を認識しております。

## ① 使用权資産

使用权資産については、取得原価から減価償却累計額および減損損失累計額を控除した価額で測定しております。取得原価は、リース負債の当初測定額に当初直接コスト等を調整し、原資産の原状回復費用等を加えた額で構成されております。使用权資産の減価償却費は、それぞれの見積耐用年数またはリース期間のいずれか短い期間にわたり、定額法で計上しております。また、要約四半期連結財政状態計算書上、使用权資産は「有形固定資産」に含めて表示しております。

## ② リース負債

リース負債は、開始日において同日現在で支払われていないリース料をリースの計算利率で割り引いた現在価値で測定しております。リースの計算利率が容易に算定できない場合には、追加借入利率を割引率として使用しております。開始日後においては、リース負債に係る金利や、支払われたリース料を反映するようにリース負債の帳簿価額を増減させております。

なお、短期リースおよび少額資産のリースについては、IFRS 第16号第6項を適用し、リース料をリース期間にわたり定額法により費用認識しております。また、要約四半期連結財政状態計算書上、リース負債は「その他の金融負債」に含めて表示しております。

IFRS 第16号の適用にあたり、比較情報の修正再表示は行わず、累積的影響を適用開始日に認識する、修正遡及アプローチを採用しております。契約がリースである、またはリースを含んでいるかの判定については、IAS 第17号「リース」(以下「IAS 第17号」という。)および IFRIC 第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判定を引き継ぐ実務上の便法を適用しております。

また、過去に IAS 第17号のもとでオペレーティング・リースに分類していたリースに IFRS 第16号を適用する際に、以下の実務上の便法を適用しております。

- ・ 残存リース期間が12ヶ月以内のリースに使用权資産とリース負債を認識しない免除規定を適用する。
- ・ 延長または解約オプションが含まれている契約のリース期間を算定する際に、事後的判断を利用する。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、資産合計および負債合計がそれぞれ63,652百万円増加しております。

## (セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業を区分し、生産・販売・研究を一体的に運営する事業部門制を採用しております。各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、主に事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「石油化学」、「エネルギー・機能材料」、「情報電子化学」、「健康・農業関連事業」および「医薬品」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービスの種類は、下表のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
石油化学	石油化学品、無機薬品、合繊原料、有機薬品、合成樹脂、メタアクリル、合成樹脂加工製品等
エネルギー・機能材料	アルミナ製品、アルミニウム、化成品、添加剤、染料、合成ゴム、エンジニアリングプラスチック、電池部材等
情報電子化学	光学製品、カラーフィルター、半導体プロセス材料、化合物半導体材料、タッチセンサーパネル等
健康・農業関連事業	農薬、肥料、農業資材、家庭用・防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策資材、飼料添加物、医薬化学品等
医薬品	医療用医薬品、放射性診断薬等

## 2 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	要約四半期 連結 財務諸表 計上額
	石油化学	エネルギー ・機能材料	情報電子 化学	健康 ・農業 関連事業	医薬品	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	380,418	140,856	195,414	138,139	242,700	1,097,527	24,591	—	1,122,118
セグメント間の 内部売上収益	2,961	3,734	457	2,430	5	9,587	31,845	△41,432	—
計	383,379	144,590	195,871	140,569	242,705	1,107,114	56,436	△41,432	1,122,118
セグメント利益 (コア営業利益)	35,383	12,849	14,827	2,470	39,275	104,804	3,190	△5,888	102,106

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△5,888百万円には、セグメント間取引消去1,038百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,926百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等です。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	要約四半期 連結 財務諸表 計上額
	石油化学	エネルギー ・機能材料	情報電子 化学	健康 ・農業 関連事業	医薬品	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	352,192	131,032	206,860	146,311	247,446	1,083,841	23,717	—	1,107,558
セグメント間の 内部売上収益	2,901	4,905	487	1,657	22	9,972	29,781	△39,753	—
計	355,093	135,937	207,347	147,968	247,468	1,093,813	53,498	△39,753	1,107,558
セグメント利益 又は損失(△) (コア営業利益)	17,402	12,548	15,296	△8,185	46,874	83,935	5,209	△4,617	84,527

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△4,617百万円には、セグメント間取引消去1,031百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等です。

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号を適用し、リースの会計処理方法を変更しているため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。なお、セグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

セグメント利益から税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
セグメント利益	102,106	84,527
条件付対価に係る公正価値変動	△6,850	41,757
減損損失	—	△19,335
事業構造改善費用	△2,374	△3,373
その他	△950	△1,031
営業利益	91,932	102,545
金融収益	16,198	7,276
金融費用	△5,826	△13,180
税引前四半期利益	102,304	96,641